森林と人をつなぐかながわ森林インストラクターの会　2025 年令和 7 年 6 月 1 日発行　通巻第 349 号

森のなかま

２０２５年　６月号
ＮＯ．２０４（継続３４９号）

NPO法人かながわ森林インストラクターの会　http://www.forest-kanagawa.jp　　発行人　黒川　敏史
〒243－0018　厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号　℡046－297－0301・Fax046－297－0302

令和６年度 成長の森 植樹会

日時：令和７年３月８日（土）7:50-16:00　雪
場所：21 世紀の森（南足柄市）
県：井出様、武田様、久富様、村松様、山田様、藤原様、町田様、野口様、黒田様、星様、秋本様、堀家様、種市様
財団：豊丸様、倉野様、南橋様、古舘様、藤本様、江坂様　　看護師：青木様
県立２１世紀の森：野村様
参加者：　361 名（100 家族、大人 228 名、子供 133 名）
インストラクター：　Ｌ内田⑰、上田⑩、山口(久)⑪、湯浅⑪、西出⑫、宇田川⑬、大原⑬、黒川⑭、鈴木⑭、岡村⑯、小林⑯、堀口⑯、大谷⑰、小国⑰、小池⑰、高谷⑰、田島⑰、野口⑰、藤田⑰、川口⑱、桑島⑱、繁山⑱、平出⑱、山口（政）⑱、渡邉⑱

◆　植樹会場

植樹会場正面は明神ヶ岳。令和２～５年度に植樹が行われた人工林が隣接しています。今回用意された苗木は 600 本(無花粉スギ 300 本・無花粉ヒノキ 300 本)。予報より早く、朝の打合わせ時から雪が降り始めました。

受付完了の参加者は植樹会場までバスで移動。降車後は凸凹道です。小さなお子さんも大人と手を繋ぎ頑張って歩きます。スギ採種園を遠巻きに見てスギの花が咲いている様子を案内、そして今回植樹する苗木は無花粉スギと無花粉ヒノキと説明しました。植樹エリア内は切り株が残る傾斜地である為、「足元にご注意」とお声かけしました。

事前に設置した支柱周辺の草やごみを取り除き、唐ぐわで支柱周辺の土を柔らかくした後、唐ぐわと移植ごてで掘りコンテナ苗を植えます。土を戻して適度に踏み、苗木を活着させる等と指導しました。

移植ごてで土を耕す小さな手。苗木の周りを踏み固める小さな足。切り株の年輪を数える子。その様子を見守りながら撮影されるご家族。植栽のコツを掴んで協力しながら手際よく進めるご夫婦。令和２～５年度に植樹したスギの様子を眺めながら、その頃の話をお子さんに聞かせているご家族。『またこの森の様子を見にこようね』と約束しているご一行。まるで、それぞれのご家族の記念日に立ち会っているような気持ちになりました。

南足柄緑の少年団も植樹に参加し、銘板前にてご参加のお子様のお名前検索補助を行っていました。また薄く積もった雪を集め雪だるま制作もしていました。インストラクターもお名前検索と記念撮影の補助を行いました。植樹会用とは別に準備した苗木 85 本はインストラクターで令和２～５年度植樹の場所へ補植をしました。

雪が降ったりやんだりの寒風の中、それぞれの参加者の様子に心がほっこり温まる場面が数多くみられました。苗木が育つ姿と、成長していく森の様子を見に、皆さんにまたぜひお越しくださるようお声かけました。そしてご家庭でも、森林への思いを馳せるきっかけになることを願います。

（記 渡邉 友美⑱、写真 植原 拓⑱）

◆　丸太切り会場

丸太切りでは、「コースターに程よいサイズ(直径 約 10cm)のスギ」と「両手挽鋸の体験用で直径約 30cm のサクラ」を準備しました。子供たちは間伐鋸を使って一人でスギの丸太切りにチャレンジし、真剣な眼差しで体験していました。自分が植樹した 10 年後の姿を想像しながら、丸太切りの切り口を見て、年輪を数えている姿が印象的でした。両手挽鋸は、多くの親御さんと子供がペアで挑戦し、息の合った掛け合いでリズミカルに挽いていました。親御さんは少しだけ体験のつもりで参加が、子供は直径 30cm の丸太を最後まで切りたい気持ちが大きく、親御さんは息を切らし交代しながら頑張っていました。

今回初の手形スタンプは、植樹の記念に「子供の手形」「家族全員の手形」など、とても素敵な手形スタンプを押していました。参加者それぞれの想い出に残る手形スタンプ付きエコバックが完成したことと思います。

緑の募金コーナーでは、アンケート回答とともに、多くの方に募金を行っていただきました。

（記・写真 森本 利弘⑰、かながわトラストみどり財団）

小田原用水と総構(そうがまえ：城下町全体を堀や石垣、土塁で囲った城の構造)

日時:令和 7 年 3 月 30 日(日)　9:00 – 15:00、晴れ、移動距離 7 km
参加者：菊地①、滝澤⑤、真貝⑪、長尾⑪、吉田⑪、飛田⑮、石井⑮、石垣⑮、久次米⑯

連歌師谷栄牧は、日記の東国紀行に 1545 年北条氏康・幻庵の誘いで屋敷に招かれた際に『水上は箱根の水海よりなどきき侍りて驚ばかりなり』とあり池の水が箱根芦ノ湖を水源とした早川より引いたと聞いて驚いたとあります。もうその時は水路があったのです。この文献から日本最古の水道といわれています。今も残る水路と総構を小田原ガイド協会様の案内で廻ってきました。

今の早川は、水量は少ないのですが当時は静岡県側に芦ノ湖の水は流れていないのでとても多かったそうです。地理的には、小田原城からは西側で総構の外側の早川から取水口から分岐します。水を堰き止めて分岐していますが当時はだるま籠が使われていました。更に城下町用と外用に分岐します。水量は城内 55%。水路の下は今コンクリートですが土間でした。使えなかった水は再び早川や海に流れていきました。国道 1 号線の 2 本山側の道に沿って今も雨水排水としてあります。堀の近くにまで来ると暗渠(あんきょ：見えない水路)となりました。各家庭に水路が引かれ桶に貯めていました。

早川からの取水口
水量を変える為 2 つ

分岐部分

早川口遺構、総構の入口
江戸時代に入口が板橋口に移った
ため良好な状態。

大雨等で水が多い時は総構の外側に水を流し泥堀としてぬかるんだ場所もありました。全ての水を賄う事が出来ていない為、荻窪用水も後にできています。

近代水道となった昭和 11 年からは、雨水の排水と堀の水として使用していました。東京オリンピックで新幹線工事があり水が汚れてしまいましたが配管工事をして再び綺麗な水になりました。

西の空堀は、堀の斜面に大木がありますが当時は木があってはいけない場所なので時間の流れを感じます。開発で進んで途切れてしまっている場所にくると「イメージして下さい。この尾根とここが繋がります。その間は想像して下さい。」という案内はその場所に居る事で理解できる興味深い体験でした。上水見学でしたが歴史、先人達の考え方にふれたとても有意義な 1 日でした。

記念撮影

当時は木も無く、上の幅 30m 下の幅
9m 高さ 12m 上部崩れ底は埋まった

水堀に水が入る

(記・写真　菊地 昭子①)

シリーズ
『やま』の色々

第8回　生物多様性について考えてみます⑧
人工林と天然林
公益社団法人 大日本山林会参与　桜井尚武　氏

人工林とは、目的樹種の発生が人力で行われたもの（図1）、天然林は人力を介さずに行われたものと説明しました。この定義は行政機関である林野庁の仕分けです。この区分を学者や研究者、一般人がみな納得しているわけではありませんし、そう簡単に仕分けできるものではないということも素直に納得できると思います。

私は行政上必要だからこのように仕分けられたものと考えます。林野行政も法律に従った国民への奉仕仕事をする義務があります。どんな森林を作るか、どのような森林をどのように作るかを、その目標を達成すべく実行する義務があります。そのために広大な国有林には森林管理局、森林管理署等の実行官庁が配置され、民有林では補助金配分や指導のための業務を地方公共団体を通じて実行します。これらの業務、作業に必要なのが予算であり、これは毎年実行計画を作って必要経費を主務管理官庁の財務省に要求し配分を受ける必要があります。この時作業に予算が必要な業務か不必要な業務かの区分けが必要なのでこの仕分けを作ったと思っています。

図1 新植地_20181104_軍畑青梅市

予算に絡む業務に関する事で、間伐と除伐の例に面白い話がありました。除伐は植栽後の下刈りを終えた林地で10年生位から始まる大きく伸びてきた目的外の雑木を伐採する作業です（図2）。間伐は植栽木を伐ることで競争緩和と形質不良木等後まで残したくない植栽木を除去する作業ですが、形質不良木の割合はそれほど多くないのが普通です。かつてはある程度育った林で行われる間伐で得られる材は、細い丸太でも垂木や海布丸太などに使われる販路がありました（人工林木では胸高直径4㎝以上の木を記録することになっています）。

図2 除伐期の雑木の混じった植栽地_1985年頃_岩手県

財務管理官は配布した予算を投じて購入し植栽した目的樹種を伐るのは納得できずにこの間伐作業には間伐木は収入に結び付くだろうと予算を付けたがりません。時代が進み小径材の販路が無くなってきても切り捨て間伐（図3、4）という「予算の不適正利用」を思わせる作業実行の予算獲得は困難でした（予算管理担当は現地調査も行い適正実行の監視をしますし、これをしないと彼らが会計検査院から指摘されることになります）。

図3 間伐地_1990年頃_黒羽町栃木県

そこで除伐２類という言葉を考案して目的林になる主林木を育成するために、今後は主林木の生育の邪魔になる植栽木も自然に侵入生育する雑木と同じように除去するための業務費を要求することになりました。除伐２類という語は暫く使われていましたので、予算管理部門の了解は取れたのでしょう。現代なら、造林地に侵入してきた雑木を除伐と称してバタバタ切り倒すとは生物多様性をないがしろにしているといわれるかもしれません。しかし一方で雑木を残した造林地は不成績造林地というんだよという声が聞こえます。

図4 整理された放置間伐材_20100430_奥三河愛知

桜井先生のご執筆内容にご感想やご質問がありましたら
先生のアドレス
hayachines@yahoo.co.jp　にお送りください！

活　動　短　信

今回の掲載は R7 年 3 月 22 日から R7 年 4 月 16 日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

6 月（水無月）（旧暦 5 月皐月）の二十四節気、七十二候、鳥こよみ

芒種 6/5　夏至 6/21、腐草為螢（くさたれるくさほたるとなる。6/10～6/15）。蛍があかりを灯し飛び始める季節。昔は腐った草が蛍に生まれ変わると信じたそうです。**鳥こよみ:** 毎年この季節になると気になるのがアカショウビン。「キョロロロロ～」と声はすれども姿は見えず。夏の渡りの途中に立ち寄っているようで、翌週にはその声も聞こえなくなってしまいます。雨の前によく鳴くので別名「雨恋鳥」。

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明

活動短信の投稿内容を変更します
以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。
本文と写真は作成せずに送付してください。送付先は最終ページに掲載。

◆ 活動団体・活動名　等
日　日付:令和 x 年 x 月 x 日（曜日）時間、天気
場　場所　（例:相模原市緑区　長竹承継分収林）
参　参加者　人数
県　例　神奈川県 環境農政局　緑政部
　水源環境保全課　水源の森林推進グループ
財　（公財）かながわトラストみどり財団、看　看護師
ス　例　小田原市森林組合XX様
　　例　川崎市公園緑地協会・XX様
イ　インストラクター①　（〇数字:期）　研:研修枠
活　活動内容　例　午前　間伐、午後　クラフトと自然観察

◆ アコム株式会社様　森林保全活動
アコムの森（神奈川）

日　令和 7 年 3 月 22 日（土）10:00～15:00 晴れ
場　県立 21 世紀の森
参　14 名
県　神奈川県水源環境保全課　星様、秋本様
イ　L 森本⑰、西出⑫、山口⑱

今年度 8 回目で、締め括りの活動となる、アコム様のサポートを担当。

下見時のインストラクター申し合せ事項は、1）作業後、竹の幹と枝が見栄え良く集積されていること　2）丁寧な作業を意識していただくこと。

アコム様が事前に配送した荷物が管理事務所に未着のため、手袋や横断幕、飲料が無い状態!!

県職員から予備手袋を借り、有志の方が自作された「アコムの森」タオルを広げ写真撮影、自販機で飲料を購入と波乱のスタートでした。

気を取り直し、アコム様主導で用具の準備、装着。作業現場には上部経路から進入したので、参加者自身に集積の善し悪しを現認していただくことができた。

設定した目標作業エリアは上部通路までの竹の皆伐。参加者から「アコム魂を見せよう」と掛け声が上がり、気分を盛り上げて作業に取り掛かった。

昼食を挟み午後も同所で作業して、14 時過ぎには、集積の綺麗さ、設定した目標作業エリア皆伐を達成して、全ての参加者が満足感を実感する活動となった。

現場撤収の際に、最後尾班の竹挽鋸一本が見当たらず、帰路についていた前班メンバーが一緒に捜索する様子（竹挽鋸は見事発見）を拝見して、素敵な企業様と関わりを持てることが嬉しくなりました。

（記　山口　政美⑱、　写真　森本　利弘⑰）

かながわしずくちゃん Twitter は下記URLで見ることができます。

https://twitter.com/kanagawa_sizuku

◆ 日産トレーディング株式会社様　森林保全活動
やどりき水源林での間伐、並びに自然観察

日　令和 7 年 3 月 23 日（日）10:00～14:00 晴れ
場　やどりき水源林
参　25 名
県　神奈川県水源環境保全課　藤原様、星様
イ　L 牧石⑭、森本⑰、三浦⑰、廣瀬⑱、山口⑱

令和 6 年度ネットワーク活動締め括りで、企業としては今回が初めての参加となる、日産トレーディング様の活動を報告する。インストラクター申し合せ安全目標は、「周囲の安全確認」。

企業側の事務局、参加者共に初めての行事である。不安を払拭できるよう、かつ事故無く活動できるよう気を引き締めた。

開会式、準備体操の後、集会棟裏の看板「森は水のふるさと」で森林インストラクターリーダーが説明、自分が飲んでいる水道水は神奈川西部森林が源である事に驚いている参加者の顔が印象的だった。

今回やどりき水源林に来た目的のひとつ、企業看板での写真撮影に向けて、全員が林道コースの最奥部へと向かった。日産トレーディング事務局が今回の活動に間に合わせるべく駆け込みで設置した企業看板が見え、皆の足取りが速まる。誇らしげに看板と撮影する参加者だが、移動と撮影で予定以上の時間を費やした。

撮影後は活動班毎に分かれ、間伐班 17 名は平成 19 年度成長の森へ。3 班に分かれ森林インストラクターの手ほどきで、全員が交代で間伐鋸を使い、ロープを引いて幹が倒れた瞬間は歓声と拍手が上がった。自分で伐倒したカツラの一部を手にしたお子さんの笑顔は良いものだ。

自然観察班の 8 名は林道コース散策し、春の芽吹きを眺めながら、樹木の下ではムササビの食痕に触れ、水辺では大量のオタマジャクシに声を上げていた。集会棟下広場に移動しての丸太切りは 3 回/人も実践できてお子様含め大満足の表情であった。

開会式で経営者が「社内アンケートで社会貢献活動に興味がある従業員は 7 割以上、会社のアクションが伴っていないと感じる従業員も 7 割以上、この結果から森林再生パートナーへの参画と、従業員の現場体験へと繋がった」と参加者に経緯を説明されていた。次回、次々回へと活動が活性化するよう、サポートをしていきたいと感じた。

（記　山口 政美⑱、写真　牧石 稔⑭、森本 利弘⑰）

人も自然も いきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページでご覧ください。http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ 第１回県民参加の森林づくり

日　令和 7 年 4 月 16 日　（水）　晴れ
場　茅ヶ崎市芹沢　県立茅ヶ崎里山公園
参　40 名
財　トラストみどり財団　豊丸様・南橋様・志村様
看　青木様
ス　県森連様　神奈川県公園協会　西村様
イ　L. 小笠原⑩、齋藤⑧、徳岡⑪、山口久⑪、大原⑬、水上⑬、黒川⑭、小松⑭、西岡⑭、石垣⑮、飛田⑮、小林照⑯、兵頭⑰、田中和⑱、平出⑱、渡邊友⑱、
活　竹林の除伐作業　タケノコの除去
ボランティア交流会　2 団体
清水谷戸を愛する会　合同会社「萬葉楽」
（記 小笠原　多加子⑩）

◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社様「新人営業職向けプリウス森木会」

日　令和 7 年 4 月 9 日（水）10:00～15:45 晴れ
場　県立 21 世紀の森
参　90 名（大人 90 名、子供 0 名）
県　神奈川県水源環境保全課 藤原主査様、星主事様
ス　県立 21 世紀の森担当者様
イ　L 牧石⑭、松本⑪、石垣⑮、岡村⑯、久次米⑯、小林⑯、野口⑰、藤田⑰、繁山⑱、佐伯⑱
活　午前，午後　間伐、竹林整備、自然観察、箸づくり

新旧２台のプリウスが展示されて程なく、元気な若者 90 名が２台の大型バスで到着しました。

全体説明及び準備体操を終え、間伐３班、竹林整備３班、自然観察３班、箸作り３班、計 12 班に分かれ、日向での活動は少し汗ばむ程の暑さではありましたが天気は最高、桜吹雪の中班毎に活動に入りました。

間伐班は、成長の森の H25 年のエリアで実施しました。森に足を踏み入れた時に「あー、これが森の空気かあ」「気持ちいい」という声があがっていました。各班で森林や、間伐、作業時の安全の確保などについて説明をしたあとに、実際に間伐する木を決めて、1 つずつ作業を進めました。ロープを掛け、準備ができたら伐倒です。鋸は、順番に交代し

ながら少しずつ引いていきました。慣れていない方も多いようでしたが、丁寧にまっすぐ引くことを意識して上手に切り進めていました。伐倒後に、枝払い、玉切り、切り戻しをし、森の中が散らかった状態にならないように整理して終了しました。

竹林整備班は、マダケ展示林で実施しました。参加者の中にはノコギリ・剪定鋏に初めて触れる者もいて、作業前の作業手順・道具の使い方・危険禁止行為の説明には十分時間を割きました。

最初は手探り状態であった参加者も、徐々にエンジンの回転数も上がり、研修も一週間目と言うことでお互いの性格を理解しているのか自然に役割分担が決まり、奥に入って切り出しを担当する者、それを引き出して枝落としと玉切を担当する者に分かれるようになりました。

作業エリアに日陰はなく、熱中症予防のため頻繁に水分補給休憩をとるようにしました。休憩中に、森林のはたらきは？役割は？木と草の違いは？じゃ竹はどっち？等々質問すると積極的に答えてくれました。

自然観察班は森林館を中心に実施しました。
東屋では爽やかな風、すこし霞がかった足柄平野、相模湾の景色に「気持ちいい！」「綺麗！」などなど、飛び交いました。ここで少し遊びましょう。ムクロジシャボン液にストローをつけそっと吹く、“でた“‘シャボン玉“　ボトと液が落ちてしまうことも多いのですが成功すると「ヤッター！！」　若者の笑顔と笑い声が青空に飛んでいました。「カシの木の森」で、子供の頃ドングリを拾ったことある人　と尋ねると全員が手を挙げ「沢山集めてました！」との元気な声が返ってきました。この小さな実が芽を出し成長してこの大木になるんですよ。と伝えると「えっ？ドングリが成長するとこの木になるんですか！マジッすか？」と驚かれていました。

箸づくり班は木工工芸センターで県立 21 世紀の森担当者様指導により作成しました。

森林施業の一端を体験していただき、楽しく有意義な時間になったことと思います。

（記　佐伯　龍彦⑱　藤田　あずさ⑰　石垣　桃栄⑮　久次米　久美子⑯、写真　牧石　稔⑭）

◆　チューリッヒ株式会社様 森林再生パートナー活動

日　令和 7 年 4 月 12 日（土）10:00～14：00 晴れ
場　県立 21 世紀の森
参　57 名（大人 47 名、子供 10 名）
県　神奈川県水源環境保全課　村松様
イ　L 野口⑰、斉藤⑬、牧石⑭、岡村⑯、大谷⑰、高谷⑰、森本⑰、川口⑱
活　午前：間伐/自然観察・水源林学習、
午後：昼食後、閉会式、解散

◆　株式会社 鈴廣蒲鉾本店様 新入社員研修

日　令和 7 年 4 月 16 日（水）13:00～16:00　晴れ
場　やどりき水源林
参　8 名
県　水源環境保全課 村松様
イ　L 松浦⑯、岡村⑯
活　間伐

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で５番目／ＮＰＯ法人で初めて委嘱されています。

水源の森林づくり事業の概要や実績、イベント情報等を紹介します。森林再生パートナーの概要説明、成長の森や水源林のつどいといったイベントの紹介。
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/j/suigen-shinrin/1/top.html

やどりき水源林ミニガイド

「やどりき森の案内人」

林道工事に伴い、6月30日まで森の案内人を中止いたします。
https://ktm.or.jp/yadoriki/

「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。5月号「自然豊かな”やどりき水源林”で心身ともにリフレッシュしませんか？」を掲載しました！

やどりき水源林ニュース第221号　2025年5月　1/2

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

やどりき水源林ニュース

発行（公財）かながわトラストみどり財団　編集（NPO法人）かながわ森林インストラクターの会
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜合同庁舎内
☎045-412-2255 URL:https://www.ktm.or.jp E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林森の案内人(定期)観察会のお知らせ（費用等負担はありません）
無償出張・日曜の年間10時2年を1時から（NPO法人）かながわ森林インストラクターの会員が先導役をご案内します。
やどりき水源林ゲート前集でお越しください。なお、本年（12月・1月・2月）は実施時期のため休止します。
※ 4/19～6/29は林道復旧工事のため「森の案内人」は休止となります。

自然豊かな“やどりき水源林”で心身ともにリフレッシュしませんか？

やどりき水源林に五月のさわやかな風が吹き抜けます。
木々の緑は深さを増し、小さな花々は彩り豊かで目を楽しませてくれます。
鳥の声が心地よく響き心が安らぎます。深呼吸をすれば森の香りが日々のストレスを忘れさせてくれます。
自然の恵みをたっぷり感じながら過ごす時間は格別です！

森のなかまは過去号もご覧になれます

（ホームページ）　https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01
（HP担当：森本　利弘）

◇　森のなかま原稿募集　◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

＜広報全般お問い合わせ＞
河西　静夫
skasai0618@gmail.com

＜電子配信会員向け担当＞
小池　宗子
muneko-sakura@outlook.jp

＜本誌、別冊原稿送り先＞
河西　静夫
skasai0618@gmail.com
小国　一男
ka-oguni@ab.auone-net.jp

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも上記に2名にお送りください

森林探訪ガイドブック　販売開始

『森林探訪ガイドブック』は、かながわの自然を愛する森林インストラクターが力を結集して企画・編集したガイドブックです。

A5フルカラー52頁、動植物や史跡等の写真多数、地図、高低差図、ミニ動画ガイド付きです。在庫がなくなり次第、販売終了となりますので、お早めに購入申込みしてください。定価：相模川以西、相模川以東　各７００円（税込）

◇　編集後記　◇

★　昔は伐倒の元玉はなるべく低い位置で理由は取引量（m3・立米、石）が多く取れるから。
でも安全に倒すには、受け口／追い口をキチンとしなければ安全に倒せない。で今の受け口角度30°～45°は木曾の木こりがチェーンソー使い始めてから明確にし、始まった。（角度の小さい方がツルが早くきれる／つぶれる）で最近は安全面から45°が基本とお役所から通達があった。でも、安全だけを考えた場合、角度はもっと大きい方がツルの切れる時間がかせげるはず。すなわち退避時間が大きくとれる。一度お試しあれ！！
でも木材収穫量（体積）は減るので昔の人はなるべく地際で、でも我々は材の利用のない間伐なのに見てぶりを気にして地際から切る。利用の無い間伐ならやりやすい高さでするのがよいのでは？？（松本）

★　どうも世の中の常識が崩れている様に感じるのは、私だけであろうか。
メガバンクや信用金庫で貸金庫の窃盗事件が横行している。信用を軸にしているからこそ安心と信頼が横軸に通って金融の基礎ができているはずだった。決まりごとが守れなくなった要因は何だろうか。自分との約束はなぜ破られるのだろうか。例えば「ダイエットのために毎日、ランニングする」という決意はなぜ守られにくいのか。将来の価値は低く見積もられガチ。この性質を時間割引と言うそうだ。これが自分で決めた事を守れない一つの要因になっている。何故、当初の気持ちを持ち続ける事が出来ないのか、時代が悪いのでなければ、相手が悪いのではない。それはあなた自身の問題ではないでしょうか。（小林照）

やどりき水源林問合せ：(公財)かながわトラストみどり財団
TEL ： 045-412-2255　/　FAX：045-412-2300
https://ktm.or.jp/　Mail: midori@ktm.or.jp

かながわ森林インストラクターの会
https://www.forest-kanagawa.jp/　Mail: kinst0981@friend.ocn.ne.jp

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座00230-0-2454　**かながわ森林インストラクターの会**宛まで２０００円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

編集人：　河西　静夫
広報部：　黒川　敏史、　松本　保、
笠原　かずみ、　長尾　晴子、小林　照夫、
大友　博道、小国　一男、小池　宗子、
森本　利弘
支援：　大原　正志、吉田　郁夫